

研究分野	資源開発	部名	資源開発部
研究課題名	ブランドさくらます資源開発事業		
予算区分	県単		
試験研究実施年度・研究期間	H. 18～H. 19		
担当	吉田 雅範		
協力・分担関係	内水面研究所		

### 〈目的〉

平成 15～17 年に実施した「さくらますブランド形成事業」により、次のことが分かった。

- ・中央での価格形成期（高単価で取引される時期）が 3 月末～4 月第 1 週と短い。
- ・中央市場で高級魚として扱われるのは 2kg 以上の大型魚である。

この結果に基づき、さらに本県サクラマスのブランド化を推進するためには、中央市場での価格形成期に本県から鮮度の良い大型サクラマスを安定的に供給することが必要であることから、大型のサクラマスを適期に漁獲できる放流時期や放流サイズ等を明らかにする。

### 〈試験研究方法〉

#### ① さくらます幼魚放流追跡調査

リボンタグ標識魚の再捕報告を整理した。

漁業者からの再捕報告の他に、白糖漁業協同組合、大畑町漁業協同組合、大戸瀬漁業協同組合及び深浦漁協協同組合では調査員が市場に水揚げされたサクラマスの標識魚確認作業を行った。幼魚については尻労、関根浜、佐井村牛滝、深浦町黒崎の定置網で混獲したサクラマスの標識魚確認作業を行った。いずれも、サンプル調査であり、全数の確認はしていない。

#### ② さくらます成魚回帰調査

10 月 5、6、7 日に老部川で捕獲したサクラマス 3 尾（尾叉長 56、44、43cm）にアーカイバルタグ（水温、水深データを記録）を装着し、2007 年 10 月 10 日に河口域へ再放流した。

### 〈結果の概要・要約〉

#### ① さくらます幼魚放流追跡調査

表 1 に 2007 年リボンタグ標識魚（成魚）の再捕報告結果を示した。成魚の全再捕尾数は 14 尾であった。再捕地区は太平洋及び海峽が 11 尾（放流地点は北海道 9 尾、青森 1 尾、秋田 1 尾）、日本海が 2 尾（放流場所は山形と秋田）、北海道が 1 尾（放流場所は青森）であった。再捕時期は 2 月～5 月 17 日であり、中央での価格形成期である 3 月末～4 月第 1 週を含んでいた。再捕サイズは 1kg～2.4kg であり、2kg 以上の大型個体は 14 尾中 3 尾であった。

#### ② さくらます成魚回帰調査

1 尾（全長 43cm）は 10 月 17 日に老部川で再捕した。再放流直後、1 尾（全長 44cm）はへい死し、1 尾（全長 56cm）は再捕できなかった。

## 〈主要成果の具体的なデータ〉

表1 2007年標識魚（成魚）再捕報告結果

再捕情報						放流情報				
海域	月日	場所	タグ	魚体 (cm, g)		道県	月日	河川	尾数	魚体 (cm, g)
太平洋	2007/3/15	白糠沖	リボン ピンク HK初山別	- 1100		北海道	2006/6/2	風連別川	10,000	12.9 22.90
太平洋	2007/3/17	白糠沖	リボン ピンク HK神恵内	- 1600		北海道	2006/5/17	珊内川	3,945	13.9 27.70
海峡	2007/2/22	尻屋沖	リボン 白 秋	56 2180		秋田	2006/3/27	打当川	4,901	13.3 22.10
海峡	2007/2	尻屋沖	リボン 黄 SK	32 1100		北海道	2006/5/18	沙流川	10,000	13.4 24.2
海峡	2007/3/3	下風呂沖	リボン 黄 SK	46 1200		北海道	2006/5/18	沙流川	10,000	13.4 24.2
海峡	2007/3/3	尻屋沖	リボン ピンク HKシママキ	40 1700		北海道	2006/5/18	千走川	1,802	30.7
海峡	2007/3/4	尻屋沖	リボン ピンク HKシママキ	34 1400		北海道	2006/5/18	千走川	1,802	30.7
海峡	2007/3/20	尻屋沖	リボン 白 AM1	45 1000		青森県	2006/4/12, 18	追良瀬川	15,000	12.5-12.7 20.5-21.1
海峡	2007/3/23	尻屋沖	リボン ピンク HKシママキ	47 2300		北海道	2006/5/18	千走川	1,802	30.70
海峡	2007/3/23	大畑沖	リボン ピンク HK初山別	48 2400		北海道	2006/6/2	風連別川	10,000	12.9 22.70
海峡	2007/4/4	尻屋沖	リボン ピンク HKサンナイ	35 1400		北海道	2006/5/17	珊内川	6,096	13.8 27.7
日本海	2007/4/30	深浦沖	リボン ピンク 山	42 1800		山形	2006/3/27	庄内小国川	2,000	36.50
日本海	2007/5/17	深浦沖	リボン 白 秋1890	50 1600		秋田	2006/3/24	米代川	5,236	12.5 19.90
その他	2007/5/6	北海道熊石沖	リボン 白 AM?	48.7 1800		青森県	2006/4, 5	川内川か追良瀬川		

## 〈今後の問題点〉

高単価で取引きされる時期、サイズが限定されるが、実際の漁期は冬～春季の長期間に及び、漁獲サイズも小型～大型魚までである。このことから、放流時期、サイズのコントロールだけでは、市場価値の高い資源を造成することは困難であり、むしろ小型魚での高価格形成や青森県産の差別化など流通・加工分野での取り組みが必要である。

## 〈次年度の具体的計画〉

平成19年度で終了

## 〈結果の発表・活用状況等〉

「平成19年度ブランドさくらます資源開発事業調査結果」を作成する。